



環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の管理・保管・排出の適性化		
庁舎管理	○			×	×	×	—	×	—	○				
庁舎管理		○		×	×	×	—	×	—		業務用冷凍空調機器の適正管理と点検等の実施、廃棄時の書類の保存			
庁舎管理			○	×	×	—	×	×	×					
廃棄物置場管理	○			○	—	—	—	—	○					
駐車場管理	○			○	—	○	—	○	—					

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準で)			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
空調をはじめとする機器・設備の使用による、電気、ガス等エネルギーの大量使用 ・空調設備を集中管理し適度な温度に保つことによる電気、ガス等のエネルギー消費の抑制 ・庁舎周辺の緑地の管理や夏季におけるグリーンカーテンの取り組みを、アダプト方式で各課職員で行うことによる、エネルギー使用の抑制と職員の意識の向上	電気の消費量の抑制 年間を通して 電気消費量を対前年比98%に抑制		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの集中管理</li> <li>・エアコンの適正な温度設定の呼びかけ</li> <li>・室内照明のこまめな消灯</li> </ul>				
	ガス消費量の抑制 年間を通して ガス消費量を対前年比98%に抑制		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの集中管理</li> <li>・エアコンの適正な温度設定の呼びかけ</li> </ul>				
	グリーンカーテンの設置及び管理 5月～10月 効果的・適正に管理されている		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月植えつけ、10月撤去</li> <li>・専門家による指導</li> <li>・アダプト方式による管理</li> </ul>				











環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			—	×	×	—	×	—		使用済み自動車の再資源化に関する法律	自動車廃棄時の適正処理のためのリサイクル券の保管、引取り証明書の保管		
自動車関係廃棄物の発生	○			×	×	—	—	×	—					
燃料の消費	○			×	×	×	—	×	×	○				
エコカー購入	○			○	—	○	—	○	—					
洗車場の排水		○		×	×	—	—	×	—					
軽微な修繕		○		×	×	—	—	—	—					
車両の廃棄		○		—	×	×	—	—	—					
車両からのフロンガスの漏えい			○	×	—	○	—	—	—					

リスク・機会	環境目標		環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
	①実施事項 ②達成期限 (いつまでに) ③結果の評価方法 (どのような水準で)			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料の消費によるCo2の排出</li> <li>車両事故による燃料やフロンガスの漏えい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料の消費</li> </ul>	年間を通してガソリン・軽油の消費量を対前年比98%に抑制する	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃費性能の良い車両導入</li> <li>公共交通機関の利用促進</li> <li>安全運転への注意喚起</li> <li>アイドリングストップの実施</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブを推進することによる燃料消費の抑制と交通事故の防止</li> <li>エコカー購入や整備工場での定期的な点検・整備による燃費性能の向上とCo2排出の抑制</li> </ul>							











1 事業概要

		課等No.	1	事業No.	59
事務事業名		統計事業	会計	一般会計	
担当課等名		総務文書課	事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主 記号	計画等名称		
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等	○ 統計法			
事業目的	対象	国で実施する基幹統計調査等			
	意図	統計調査の適正な実施			

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)		個人情報保護意識の高まり、騙り調査の増加、調査員の高齢化による新規調査員の人員不足など、統計調査を実施する環境が厳しくなっていますが、正確かつ効率的な調査を実施します。				
30年度取組	取組内容		経費の内容			事業費(千円)
	国が実施する基幹統計調査を受託して実施します。 経常統計調査である学校基本調査(毎年)、工業統計調査(毎年)と、調査員確保対策事業を実施します。  臨時統計調査である住宅・土地統計調査、経済センサス-基礎調査(準備事務)、平成32年国勢調査調査区設定(準備事務)、2020年世界農林業センサス(準備事務)を行います。		統計調査総務費			1,958
			経常統計調査費			872
			臨時統計調査費			4,237
		その他の経費			0	
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	経常統計調査	調査	2	2		
	臨時統計調査	調査	2	4		
30年度予算	財源の状況(千円)		当初予算額			
	事業費計		7,067	特定財源内訳及び補足事項		
	国庫支出金		0	(県)統計調査委託金(経常調査) 872千円		
	県支出金		5,109	(県)統計調査委託金(臨時調査) 4,237千円		
	地方債		0			
	その他		0			
一般財源		1,958				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事業	中 事業	当初予算額	中事業名(科目名称)
							現計予算額	
1	1	2	5	1	10	1	1,958 0	統計調査総務費
2	1	2	5	2	10	1	872 0	経常統計調査費
3	1	2	5	2	11	1	4,237 0	臨時統計調査費
4								
5								
6								
7								

